【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2001-509208(P2001-509208A)
【公表日】平成13年7月10日(2001.7.10)
【出願番号】特願平10-525356
【国際特許分類第７版】
　Ｃ２２Ｃ　21/06
　Ｃ２２Ｆ　 1/047
// Ｃ２２Ｆ　 1/00
【ＦＩ】
　Ｃ２２Ｃ　21/06
　Ｃ２２Ｆ　 1/047
　Ｃ２２Ｆ　 1/00　　６２３
　Ｃ２２Ｆ　 1/00　　６３０Ｋ
　Ｃ２２Ｆ　 1/00　　６８６Ｂ
　Ｃ２２Ｆ　 1/00　　６９１Ｂ
　Ｃ２２Ｆ　 1/00　　６９４Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月9日(2004.11.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成１６年１１月　９日

特許庁長官殿

適

１．　事件の表示

平成１０年特許願第５２５３５６号

２．　補正をする者

氏名（名称）　アルキャン・インターナショナル・リミテッド

３．　代理人

住所　〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見１丁目３番７号　ＩＭＰビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261　　ＦＡＸ 06-6949-0361

氏名　弁理士　(6214) 青山　葆

４．　補正対象書類名　　請求の範囲

５．　補正対象項目名　　請求の範囲

特許 16.11.10 出願書類

６．　補正の内容
別紙の通り

請 求 の 範 囲

1． ｗｔ％で、

Ｓｉ	０．１０－０．２５	好ましくは ０．１０－０．２０
Ｆｅ	０．１８－０．３０	好ましくは ０．２０－０．３０
Ｃｕ	０．５以下	好ましくは ０．３以下
Ｍｎ	０．４－０．５	
Ｍｇ	３．０－３．５	
Ｃｒ	０．２以下	好ましくは ０．１以下
Ｔｉ	０．１以下	
Ｚｎ	０．０５以下	
Ｂ	０．０５以下	
不可避的不純物	各０．０５以下、合計で ０．１５	
Ａｌ	残部	

の組成の合金。

2． 請求項１に記載の合金の圧延され、焼きなましされたシート。

3． 鋳造、均質化、熱間圧延、冷間圧延、任意の中間焼きなまし、最終冷間圧延及び最終焼きなましの工程からなる請求項２に記載のシートを製造する方法。

4． 鋳造がＤＣ鋳造であり、均質化が５００－５８０℃であり、任意の中間焼きなましが、３００－４００℃でのバッチ操作又は４００－５５０℃での連続操作のどちらかであり、最終冷間圧延が４０－６０％圧下率までであり、最終焼きなましが、３００－４００℃でのバッチ操作又は４００－５５０℃での連続操作のどちらかである請求項３に記載の方法。

5． 合金が再利用金属から成る請求項４に記載の方法。

6． 均質化が５３０－５８０℃で行われる請求項４又は５に記載の方法。

7． 合金が３．０－３．３％のＭｇを含有し、最終焼きなましがバッチベースで行われる請求項４から６のうち何れかひとつに記載の方法。

8． 合金が３．２－３．５％のＭｇを含有し、最終焼きなましが連続で行われる請求項４から６のうち何れかひとつに記載の方法。

９．　請求項２に記載のシートから作成された車両構造部品。